



萩市須佐地域

公民館だより

令和7年

5月

第622号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット



入学式後の写真（育英小）

《今月の話題》

- 「生き生き教室」7年度スタート！
新クラブ活動開始！・・・・・・2、3P
- 「子育て日記」・・・・・・4P
テーマ：おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋
- 6月生涯学習発表会「作品募集！」・・10P

桜の花満開の4月8日（火）、小・中学校で入学式が行われました。
令和7年度の園児、児童、生徒数は、須佐保育園21名、育英小学校38名、須佐中学校27名の86名です（昨年度より1名増）
地域の皆さん、どうぞよろしくお願いします。



今年も元気よくスタート!



元気な熟年者が集う「生き活き教室」つどい会

新年度の活動が、須佐公民館で開催されました。「生き活き教室（会員制）」では、主に月・水・金曜日を中心にいろんなクラブ活動を行っており、月初めの水曜日は、会員全員が対象の「つどい会（学級会）」が開催されています。

新年度、最初のつどい会は、お花見に行こうと計画を立てて準備をしていました。

しかし、つどい会の遠足は、高頻度で悪天候になり、室内レクリエーションになることが多いのです。

今回も、4月2日（水）の当日朝まで、天気や桜の開花状況などが心配でドキドキしていましたが、当日は天気もよく、桜も満開で絶好のお花見日となりました。

早速、お弁当作り。調理室では開始早々、「ボウル！ボウルはどこ！」「このキュウリはどうすればいい？乱切り？千切り？」などとてもやわんやの大騒ぎ。ワイワイしながらでもどどんおかずは出来上がり、全部で10品目が出来上がりました。今回は、いつものおにぎりではなく「おにぎらず」を作りました。



総出で「おにぎらず」を作る参加者

おにぎらずは「朝ごはんメニューコンテスト」で、萩市の中学生が考案したレシピです。それを、食生活改善推進協議会須佐支部さん（以下「食推さん」）が教えていただいたそうです。おにぎらずとは、大判の海苔を4区画に分け、各区画にそれぞれ、ご飯とおかずを載せて、折り紙のようにばたばた折って作るおむすびのことです。

海苔には、ご飯や具をのせる場所が決まっており、食推さんの指導の下、大きなおにぎらずを作ることが

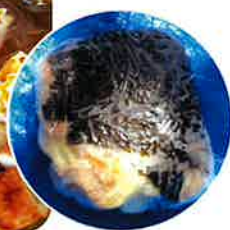
できました。（気になった方はお近くの食推さんに聞いてみてください）初めて作るおにぎらずに「へえよく考えられてるね」「順番に折るだけなのに面白いね」と皆さんに大変好評でした。

お弁当が出来上がると、松崎八幡宮の隣の忠魂碑前広場まで約15分足らずの道を歩いて行き（お弁当は車で運びました）、トンビがお弁当を狙っていたので、桜の木の枝の低い場所へブルーシートを広げて、お花見をしながらお弁当を食べました。

満開の桜の下で、おいしいお弁当を食べながら、おしゃべりにも花を咲かせ、参加者は満面の笑みで楽しく過ごされていました。「晴れてお花見できてよかったね」「ここの桜、毎年本当にきれいなねえ」と大絶賛！スマホで桜を撮



「おにぎらず」が2個つきボリューム満点のお弁当



満開の桜をバックに記念撮影

る人や、満開の桜を背に仲の良い人と並んで写真を撮ってもらおう参加者もいました。

今回、参加されたのは、14人と多くの方が最初のつどい会から参加され、生き活き教室は、幸先良いスタートとなりました。

まだ、入会されてない方、皆さんと一緒に楽しく活動してみませんか？入会はこちらへ

○申し込み先

須佐公民館 ☎ 2310

○年会費 1,000円

※クラブ活動内で別途徴収あり

新クラブ

『いっいっいっ』誕生！



今年度から新クラブ『いっいっいっ！』ができました。このクラブは、生き活き教室の会員になっても、「なかなか出てきていない人を対象に、山口県内を回って見よう」とできたクラブです。初回は、下関市豊田町にある『蛸街道西ノ市』を目指して出発しました。途中のトイレ休憩も道の駅に止まるなど今回は4個の道の駅をめぐりました。

①「道の駅おみい」

最初に寄ったのは、美祢市美東町の道の駅おみいとうです。最初はトイレ休憩のみの予定でしたが、『ニワトリにエサやりができる』と情報提供があり、ニワトリも探してみました。駐車場に降りてくるつと辺りを見回し、ちよつと奥にある公園まで歩いてみるとニワトリ



元気よく走り回る放し飼いのニワトリ

が確かにいました。エサ1回50円で売っており、エサがおいである棚に近づくともニワトリがどんどん集まってきました。情報は確かでした。地元やお客さんにたくさん可愛がられているようです。（皆さんも機会があればエサやり体験どうですか？）

②「蛸街道西ノ市」

目的地の西ノ市では、ランチと買い物を楽しみました。ランチは道の駅の中にあるレストラン「万作」へ。たくさんのメニューに悩みに悩んで「ふく天井」「チキンカツ定食」「黒毛和牛カルビ丼」などしっかりおいしく食べました。お腹が満たされると、次は購買意欲を満たしに買い物へ。野菜は、朝の早い時間に買われたのか品数は少なくなっていました。ふくを使った特産品などはまだ買うことができ、皆さんしっかりと買っていました。

③「道の駅おみい」

次は、美祢市於福町にある道の駅おみいへ寄りました。この道の駅は、店内がダークグレーや、ダークブラウンでまとめられており、シックでおしゃれな店内となっており、特産品コーナーには木工作品が多く並べられていました。皆さんここでもしっかりと買い物をされていました。ちよつと休憩、別府弁天池へ

府弁天池にも行ってきました。綺麗なエメラルドグリーンの澄んだ池に「綺麗ねえ」「10年ぶりぐらいに来るけど、ここはいつ来ても綺麗」など皆さん癒されていました。

④「萩・さんさん三見」

最後は、萩市三見の萩・さんさん三見に寄りました。皆さん、ここでも車から降りると、迷うことなく店舗に向かわれました。さんさん三見にはまだ野菜がたくさん並んでいたもので、ここでは野菜を手にとつて吟味する姿が見られました。

「機会がないと出かけることができないから、今日はすごく楽しかった」と皆さん満足していただけたようです。『いっいっいっ』は、年4回ほどお出かけに行こうと計画中です。車の都合上参加人数は限られますが、皆さん一緒に出かけませんか？



別府弁天池の前で記念写真

五月人形展開催

須佐歴史民俗資料館「益田館」では、今年もたくさんの方の五月人形を飾り皆さんの来館をお待ちしています。是非、お立ち寄りください。



★期日 4月26日（土）

～5月上旬

★料金 大人310円

子ども150円

★須佐地域の方は、無料で見学できますので、受付でお申し出ください。

公民館学級

室内グラウンドゴルフで 閉講式

弥富さつき学級

3月21日（金）、令和6年度最後のさつき学級を開催し、須佐支部老人クラブ連合会と共催で「室内グラウンドゴルフ」を行いました。参加者は22名でした。

まず、受付でくじを引いてもらい、AとDグループにチーム分けをしました。コースは、多目的ホールに1

つ3番ホール、ロビーに4番ホール、廊下に5番ホール、ふれあい研修室内に6と8番ホールを設置し、全8ホールを2回まわるコースです。

はじめに、須佐支部老人クラブ連合会副会長の立野美徳さんにあいさつをしていただいた後、早速ゲームを開始しました。

「1ホール2打までで終わらせる！」

「ホールインワンを1回は出す！」など、皆さんそれぞれ自分の目標を達成できるよう、一打一打集中して打たれていました。ゲーム中は、「頑張ってるね」「おしかったね」など、お互いに声を掛け合いながら楽しまれ、遠くまで笑いが聞こえるほど大変盛り上がりつつあるチームもありました。時々、ホールインワン！



多目的ホールでの プレーの様子

と思ったなら、ホールポストや枠に当たって跳ね返ってしまい、残念がられる場面も見られました。

参加者の中には、普段からしっかりと練習されている方もおられ、なんと今回、11名の方がホールインワン賞に輝きました。

ゲーム終了後、表彰式を行い、上位3名の方と、ブービー賞の方が表彰されました。

そして最後に、令和6年度の閉講式が行われ、全6回全てに参加された方に、皆勤賞が贈られました。

皆さん、令和7年度もよろしくお願いいたします。

【室内グラウンドゴルフの結果】

- 優勝 藤井熊雄さん（12区）
- 準優勝 宇野健治さん（5区）
- 3位 日田知信さん（12区）

【令和6年度皆勤賞】

立野美徳さん（6区）

楽しく文字を書こう！

おもしろ学級「習字教室」



須佐公民館では、令和7年度から新たに「習字教室」を始めました。きっかけは、お正月に、さつき学級で書初めを行った時、参加者から「書いてみるとおもしろい」「またやりたい」などの声があり、以前もやっていましたが、今回新たに復活し、初回4月10日（木）に開催しました。指導者は、皆さんよくご存じの石田憲雄さん（本町上）です。師範の資格を持つておられると聞き、お願いしたところ、快く引き受けていただきました。

最初は、書きたい文字を自由に書くことにしました。「何の字を書く



石田さんを前に緊張して書く参加者

う…」と悩んでいるうち、一人が自分の名前を書き出すと、全員が自分の名前を書き始めていました。

「自分の名前も書きにくいんだよねえ」と言いながら書いていくと、石田さんが一人ひとり回って見ながら、「その書き順は違うよ」「筆を止めるときには、こうやって止めるんよ」など、適切に説明しながら、一緒に筆を持って書いてもらったりしていました。すると、皆さん、だんだん上手になっていき、1時間前よりもずいぶん上達していました。

この習字教室は、毎月1回、定期的にしています。次回からは、最初に

石田さんから出された課題の文字を書き、その課題がクリアした人から、残りの時間を自由に文字を書くことにしました。

参加者は、「やりだしたら楽しいね」と他の参加者のも参考にしながら、約1時間半、習字をしながらにぎやかに過ごしました。皆さんも一緒に書いてみませんか？



何と読む？

◎習字教室の申込・問合せ

須佐公民館 ☎62310まで

子育て支援日記

テーマ／おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

「昭和一〇〇年に寄せて…」

山根丁東 仁 保逸朗

令和7年度は、子どもの頃に聞いた、昔からの言い伝えや聞いたこと、また、自分が生活してきた中での体験などを題材に、執筆、または聞き取りで掲載します。

最初は、98歳になる仁保逸朗さんが、子どもの頃に体験された戦争の話です…。

支那事変（しなじへん）が始まったのは、昭和12年7月でした。

《支那事変》

日中戦争に対する、当時の日本の呼称。白井勝美によると、1941年12月10日に命名された「大東亜戦争（太平洋戦争）」の定義に「支那事変」も含まれたことで、名称としては、そこで終わりを告げることになったという。

一方で北博昭によると戦いは続いていたため、支那事変の終期は「大東亜戦争」の終結の時期となるという。
（ウィキペディアから）

須佐のような田舎からも、召集令状を受けて軍隊へ入隊する召集兵を見送る式が駅前広場で行われました。我々小学生たちも、先生に連れられ、日の丸の旗を持ち駅へ連れていかれました。

召集兵への激励の言葉を、当時の津田町長さんが述べられた後、須佐駅のプラットホームへ移動し、汽車が来る



戦争切手（大塚均の切手です）

まで小学生は、「♪勝つて来るぞと勇ましく♪」と軍歌を、小旗を振りながら声を限りに大声で歌いました。やがて汽車が来て、召集兵は汽車に乗り込み「万歳！万歳！」の声中、発車して行きました。このように、召集で入隊する度、駅へ数回、見送りに行ったことがありました。

戦争も激しくなり、須佐からも戦死者が出て、合同の町葬が御零社で盛大に行われて、小学生の時に参列したのを覚えています。

戦争が、激しくなるに従い、召集兵を送るのも町葬も、防諜（ぼうちやう）Ⅱ外国政府やテロリストによる諜報活動や破壊活動を無力化すること上の理由から、いつの間に行われなくなりしました。

支那事変と言っていたのが治まらず、昭和16年には、英米までも敵にして、大東亜戦争（太平洋戦争）に

まで発展してしまい、遂には、敗戦へと繋がっていきました。

いずれにしても、平穩でつまましい日常を送っているある日に、突然の一枚の召集令状で軍隊に入り、戦地に行かねばならない戦争だけは、絶対してはいけな

と強く思うこの頃です。
戦争があつた子どもの頃は、どんなものを食べていたのですか？

戦争中は、米屋で米の配給を行っていたくらいで、主食の米も少なかったもので、大豆と一緒に炊いて食べていました。

また戦後も米だけではまだ足らな

かったもので、はじめ（海藻のこと）を取って、米とかじめを一緒に炊いて食べよつた。これは、どこの家でもそうやって食べていたと思うよ。

須佐地域も、そんな大変な時代があつたのですね…。

話は変わりますが、仁保さんは教員退職後、社会福祉協議会でのボランティア指導員の頃も長かつたですよ。その中で、心に残っていることがあります。

最初は、どんな仕事をしていいかわからないから、他の社協のベテランの人に聞きながら仕事をしていた記憶があります。僕がいた頃は、何ヶ月に1回、廃品回収もしとつたね。今はしていないでしょ。社協の前は2年間だけど、公民館にもいたんですよ。

そうなんです。今は、何を楽しみに生活していますか？また、元気の秘訣を教えてください。

僕は、なんでも食べるからね。それが秘訣になっているのかな…。今は、車も手放して、テレビを見ながらここへ行きたいと思つてもすぐには行けないのは残念だけれど、公民館の「生き活き教室」で写真クラブと「いいこいこ！」に行くことが楽しみになっているかな…。

元気で長生きして下さい。仁保逸朗さんありがとうございます。



旧須佐町中央公民館

いよいよ

東京世田谷公演の準備開始

季節は10月に入っていました。当初予定になかった東京世田谷公演。都心は人の数は沢山いるが、田舎芝居を誰が観に来てくれるのが心配の種。どうしてミュージカルをPRしていったら良いのか不安は高まるばかりです。

ちょうど10月24・25日は、吉田松陰を祀る松陰神社を中心に世田谷祭りが毎年開催されます。そこで松陰ミュージカルをPRすることは出来ないかというの間に一方的な話が進んでいました。

ビデオデッキとテレビ・テーブル1台は、世田谷まつり委員会が用意してくれるとのこと。私は、前回のミュージカルビデオとパンフレット1000枚・前売りチケット100枚を片手に上京となりました。

実行委員会は、私を非常に温かく迎えて頂き、会長さんも商店街の皆さんに紹介して頂きました。



世田谷／松陰神社前で参加者達と

これまで、松陰神社のお膝元は、萩市だと思っていました。吉田松陰が眠る墓は、武蔵の国／世田谷のこの神社の傍にあったことを初めて知りました。自分の無知を改めて感じた次第でした。

世田谷祭りでチケット販売

午前9時を過ぎると、祭りの参加者も徐々に増え始め、萩市や山口県の特産品の販売コーナーもありました。その傍らで、私はビデオテープを流し、ハンドマイクで音を拡張し人を立ち止まらせる切っ掛けで、パンフレットを手渡し、チケットを売るといふものですが、中々じっくり話を聞いてくれる方は居ない状況、パンフレットを配るのが精いっぱいでした。興味の無い方は、パンフレットも受け取ってもらえないのが状況・・・。

都心で、吉田松陰の知名度ってどのくらいあるのだろうか？すごく不安でした。

そんな中、ポスターの前に足を止める若い女性が・・・そうなんです、当時流行った「歴女」集団です。

とにかく彼女らは良く知っているって感じ、質問されても返事が出来ないという有様。「ええ、そうなんだ」と返事を濁すのが精いっぱい。まあとにかくミュージカルの説明も聞いてもらい、東京公演のチケットもちゃんと買ってもらえることが出来ました。歴女様様でした。

帰り際には、PR用のパンフレットを5枚10枚と束にして手渡しという荒仕事も・・・。



世田谷／吉田松陰墓前で

結局最終的には、チケットは約20枚、パンフは1000枚を2日間で配布しました。

東京での2日間を感じたことは、都心は有りとはあらゆる物があるだけに、チラシの手渡しなどのくらい成果があったのか分からないのが現状でした。

萩市に帰郷して、チケットの販売は萩市関係の伝手を頼っての販売となりました。たとえば、地元選出の国会議員や萩市出身の個人・団体・大学などありとあらゆる人への依頼で、販売促進を行いました。



タムラに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラが、わが町を紹介します。

この度は、先月号に続き「幕末志士の史跡現地探訪」の第2弾として、長州藩に関わる四境戦争の中の「石州口の戦い」で主導役をなした「大村益次郎」の通った経路を追ってみたいので、その様子をご紹介しましょう。

禁門の変から四境戦争へ

歴史に詳しい皆様方であれば、この四境戦争のあれこれの全てはご承知の通りであります。文獻によりますと、この四境戦争は今から約161年前の1864年（元治元年）京都御所での禁門の変（蛤御門の変とも言ふ）から始まります。

この禁門の変の騒動は、幕府や会津藩、薩摩藩、それに対する長州藩との御所内での争いで、結果は長州

藩が七人の公家（七卿落ち）等と共に長州へ引き下がりました。その後長州藩は、再び御所での警備につくことを願ひ上京しましたが、一部の血気盛んな長州藩士たちが禁門（蛤御門）前にて発砲しました。



京都御所 禁門（蛤御門）

幕府は御所（天皇）へ向けての発砲であることで、長州藩は朝敵とされ大きな争いとなりました。これが禁門（蛤御門）の変です。

幕府は、これらの責任を萩藩（毛利親子）に課しましたが、長州藩は益田親施・福原越後・国司信濃の三家老に切腹を命じ、長州藩の危機を逃れました。これが、第一次長州征伐の概要です。

その後、長州藩内では討幕を掲げる改革派が勢力を伸ばし、幕府の権威を否定する姿勢を示しました。ま

た、幕府は、長州藩の反抗的な姿勢を許容できず、権威を回復するため長州藩を討伐することを決定し、長州藩領の瀬戸内海、山陽道、関門海峡、山陰道の四ヶ所の領境を攻め入ろうとしました。その四ヶ所の領境（大島口、芸州口、小倉口、石州口）での戦いを歴史上、四境戦争（第二次長州征伐）と称しています。

この内の一つ、石州口（益田口とも言う）では、幕府軍（浜田藩、福山藩、因幡藩、松江藩）らに対し、長州藩（精鋭隊、清末藩南国隊、須佐隊）とが戦いました。時は1865年（慶応元年）6月16日でした。この戦いに、高杉晋作らは、西洋式軍制を持つ奇兵隊と、大村益次郎

四境戦争配置図



らを登用した新式兵器の戦術等の郡司改革を行った隊も加わり戦ったと記されています。戦いは翌年の1866年（慶応2年）長州再征からの本格的な四境戦争のはじまりでした。



石州口の戦い（扇ヶ原古戦場）

この事態に、須佐からも300名で組織された「須佐兵隊」が参戦し、大活躍をしたとの記録が残されています。

須佐隊が参戦したことによって、長州藩は四境戦争のすべての戦いで勝利を挙げ、幕府は政権を返上し新しい「明治」を迎えることとなったとされています。

更に記録には石州口（益田口）の戦いで須佐隊300名をはじめ、諸隊と合わせ、戦地での陣頭指揮をとったのが、大村益次郎であったとされています。



えいちゃん

まちの駐在さん



Q：近年、全国的に闇バイトによる強盗事件などが発生し、社会問題となっています。中・高校生などの若い世代に向けて、闇バイトの危険性などについて教えてください。

【お答えします】 須佐駐在所：衛藤豊文

「闇バイト」はアルバイトではなく「犯罪」です。

闇バイトは、関東圏だけの問題ではなく、実際に近年10月、県内光市内で少年3人が強盗予備罪で逮捕されています。逮捕されたのは、県外に住む14から18歳の少年でした。

県外の少年が闇バイトをやっているのだから、山口県に住んでいる自分たちには関係ないと思っている人もいるかもしれませんが、そんなことはありません。

須佐地区の中・高校生の皆さんの中にも、スマホでSNSをしている人は多いと思いますが、犯罪者はSNSを使って闇バイトを募集しているので、闇バイトの脅威は、場所を問わず、身近に迫っているのが実情です。



このように、SNSで「高額報酬」、「ホワイト案件」などと投稿し、応募した人に「シグナル」などのアプリで連絡し、強盗などの凶悪な犯罪をさせる行為が横行しています。

大金がもらえるとウソをつかれ、身分証などの個人情報を送ると、家族に危害を加えるという内容で脅されるなど卑怯な方法で、凶悪な犯罪に加わることを断れない状況にされます。

少年であっても、このような犯罪に加われば、必ず捕まります。厳しく処罰されます。「怪しい」、「まずい」と思ったら、すぐに周りの信頼できる大人や警察に相談してください。

**警察は、全力で
皆さんや家族を守ります。**



高山頂上休憩所



(写真は、昭和46年5月26日発行の表紙から)

高山頂上に総工事費103万円を投じ、軽量鉄骨平屋建500平方メートルの休憩所ができました。ここからの須佐湾の眺望は絶景でありまして、ハイキングコースとして、また一段と脚光をあびるものと期待いたしております。皆様お気軽にご利用ください。(今は木が生茂り、ハイキングは難しいかも…)

あの頃の須佐は 40年前の須佐を 振り返る…「広報すさ」

高山頂上に休憩所ができる

このコーナーは、元氣だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元氣な姿を届けたいと思います。



「こいのぼりを飾ったよ！」



毎週水曜日の放課後に、須佐公民館で活動している放課後子ども教室では、新年度に入り、登録はしているものの、まだ6年生の姿が見えず、2年生2名、3年生2名、5年生が2名の合計6名と、少人数でのスタートで開催しています。

4月16日（水）、百均でそろえた小さなこいのぼりを、文化センター玄関前の歩道側の木に設置しました。この日は2、3年生の4名の男子だけの参加となりました。早速、子ども達は宿題をし始め、宿題が終わると文化センターで遊んでいます。



こいのぼりをずらしていくお手伝いをする子ども達

た。こいのぼりを設置する準備が整うと、「こいのぼりを飾るよ」と子ども達を呼ぶと「わーい！」とすぐに駆けつけて外へ出ました。

こいのぼりは、緑の穴の開いた棒に、吹き流しとこいのぼりが2〜3匹ついていて、今回は、それを21本用意しました。針金に通して、木にくくりつけるのに、子ども達も手伝いました。合間を見ては、こいのぼりを持って「わーい！」と駆け回っている子もいました。

全部付け終わると、子ども達も針金を引っ張ってこいのぼりを泳がせるのに成功しました。泳がせた後は、記念写真も撮りました。



こいのぼりと一緒に「ハイ、チーズ！」

このこいのぼりは、5月の連休明けまで飾っておこうと思います。前を通った時には、是非ご覧ください。

我が家の★アイドル

1歳になる前から歩き始めた恵大。すぐに靴を履くことにも慣れ、今ではお外が大好き！天気の良い日は家の近くをぐるぐるとまわり、ご近所さんにとても可愛がって頂いています。

だんだん目が離せなくなり、心配事も増えますが、それ以上にこれからの成長が楽しみです！みなさん恵大に会った時には可愛がってやって下さい！

～父ちゃん一貴・母ちゃん麻里子より～
(本町上：地域おこし協力隊 山本)



恵大（けいた）くん：1才
令和6年4月2日生

★時々お母さんと一緒に、須佐公民館へ遊びに来ます。運が良ければ会えるかも…





まいど！

地域おこし協力隊の山本です。

今回は「放課後子ども教室と僕」についてです。

放課後子ども教室は、子ども達の居場所作りや地域との交流などを図る事業で、須佐公民館では毎週水曜日の放課後と学校の長期休みに開室しています。

僕はそこで、小学生と野球や鬼ごっこ等をして、一緒に遊びながら見守りに参加しています。一緒に遊ぶのは来ている子ども達に「あー楽しかった」と思ってもらいたいです。子ども達の頃の楽しかった思い出は強烈に記憶に残ります。

僕の楽しかった思い出は小学生の時、自然体験学習で岡山県新庄村（かなり田舎）へ泊りがけで行った事です。川魚をつかみ取りして自分で捌いて調理したり、昆虫観察をし

たり、植樹をしたり、竹細工をしたりしました。超楽しかったです。今でも魚釣りが好きで捌くのも好き、カブトムシを見つけて興奮するし、前職は林業関係、ドックが好き。なんと、小学生の時の楽しかった記憶が、今の僕に対応しているのではないですか。というか子どものままなのか？

さらには田舎の環境が好きで地方移住までしちゃってます。

思い出が今の僕を動かしたのではないかと思っています。

子どもの頃の楽しかった思い出は記憶に残り、その後の人生を左右するかもしれません。放課後子ども教室で過ごした時間が楽しい思い出になり、「あー須佐にいたとき楽しかったな」と地域外に出たときに思い出してもらおう為に、これからも僕は時間の許す限り子ども達と向き合い、目一杯遊びたいと思っています。おおきに！

スマホ相談所は、延べ150人を突破しました！



くらしの情報

生涯学習発表会

作品募集！

今年も6月恒例の発表会の日が近づいてきました。

日頃、公民館で活動している皆さん、また、お家でコツコツと作品を手がけている皆さん。皆さんの手作り作品を是非、この機会に出品して展示してみませんか？

展示することで、いろんな人との出会いがあり、また、自分にも自身がつきますよ。

ジャンルはいろいろ。手芸品、絵画、写真、書、文芸、工芸、陶芸、絵手紙、色鉛筆画など。皆さんの作品をお待ちしております。

〇申込締切

6月11日（水）まで

●作品応募先・お問合せは

須佐公民館 ☎⑥2310
弥富公民館 ☎⑧2044

※なお、作品には紐などを付けて、展示できるようにして出品してください。



須佐総合事務所関係 職員人事異動

（転入）

須佐総合事務所長 中村正弘



「少しでも早く須佐に溶け込み、皆様のお役に立てるよう、また、須佐の発展に貢献できるよう力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。」

▼産業振興部門

総括補佐 山本 徹
主査 児玉靖幸

▼市民生活部門

総括補佐 田部博子
保健師 赤岩 香

▼須佐診療センター

医事係長 田嶋照隆

▼須佐保育園長

山中 忍

（退職）

井本義則（須佐総合事務所長）

ようしく
お願いします



※小・中学校の異動につきましては、学校だより等でご確認ください。

生涯学習作品コーナー

【俳句】

紅椿無情の雪に朧なり おぼろ



(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

かすかなる光は射せど雲覆い

寒気の時節なお去りがたし



(青葉台) 田村雅利

満開の桜と孫に囲まれて

君と或る日を想う日になり

(山根丁東) ゆめはるか

みかんの木いつの間にやら丸裸

春風のせい虫のせい

(入江) 緒方恵美子



【あなたも投稿してみませんか?】

自分が手がけている作品や、花の写真、虫の写真、見たことのないようなもの、おもしろい写真など……もちろん、俳句や短歌、川柳も。皆さんの投稿で、より一層、この「公民館だより」を引き立て、楽しい紙面になります。皆さんからの投稿お待ちしております。

★投稿は、須佐公民館、または弥富公民館まで

須佐の偉人伝 大塚均

98

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚 均 (1911-1998)

広目天 切手

仏教がインドで成立する以前に現地で行われていたバラモン教などの既成信仰の中の神々を、仏教は巧みに取り入れて、仏教を護る護法神としている。それらが、いわゆる天部である。中でも四天王は須弥山の中腹に住して、頂上にある帝釈天の喜見城を守る天部の四人の天王で、東方を持国天、南方を増長天、西方は広目天、北方は多聞天が護るとされている。

昭和56年3月16日切手「広目天」310円が発行された。大塚均70歳の作品です。

2025

5月 地域カレンダー

● 須佐公民館

● 弥富公民館

● 生き生き教室

● 学校・保育園行事

● スポーツ関係

● 保セ=保健センター

● 子ども対象行事

● 弥G=弥富グラウンド

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
スマホなんでも相談所 <須佐地区> 5/12・26 (月) <弥富地区> 5/22 (木):AMのみ				1 	2	3 憲法記念日 ■わくわくフェスタ (～4:駅前)
4 みどりの日	5 子どもの日 	6 振替休日	7 つとい会 10:00	8 須 習字教室 10:00	9 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	10
11 近世益田家と須佐の歴史文化シンポジウム (文セ) 13:30 ※母の日	12 エコクラフト 9:30 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	13 須 パッチサークル 9:30	14 歩こう会 8:45 須 色えんぴつ画教室	15 生き生き体操 8:45 須 さつき学級 9:30 ■無料法律相談 (田万川)	16 行政相談 (須佐)	17 
18 家庭の日	19 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	20 須 あおば勉強室 13:30 ■心配事相談 (弥富)	21 	22	23 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	24
25 ■クリーン大作戦 (地域内全域) 韓国カフェ(須公) 10:00	26 エコクラフト 9:30 麻雀クラブ 13:00 ピンポンクラブ 13:30	27 須 パッチサークル 9:30	28 須 色えんぴつ画教室 9:30 弥 グラウンドゴルフを楽しむ会 9:30 音楽療法 13:30	29	30 	31

須佐ソフトバレーボール大会開催!

日時 6月1日(日)
9時30分開会
場所 須佐中学校体育館



皆さんの参加を
お待ちしております

○申込み 6月10日(火)までに
須佐公民館 ☎2310へ

○講師 J-FLEEC
渡邊 恵子

○とき 6月17日(火)
午後1時30分から

「金融リテラシーとは…」
「家計管理について」



● 須佐あおば勉強室
マネー講座①

○申込み 5月30日(金)まで
に弥富公民館 ☎2044へ

○とき 6月6日(金)
午前9時30分から

○ところ 弥富グラウンド
※雨天の場合
弥富交流促進センター
室内履きシューズ持参

● 弥富さつき学級
「グラウンドゴルフ」

伝言板



毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は『18日』です
★家族みんなで過ごしましょう!

須佐地域の人口 (R7.3月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	921戸	1,626人	(△13人)
弥富	210戸	389人	(△6人)
合計	1,131戸	2,015人	(△19人)

昨年比 世帯数△32人 人数△79人

編集後記

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪万博が始まりました。世界各国それぞれがテーマを掲げ、来場者は、新しい社会を体験できるようです。

その中で驚いたのは、2億円もかけて作られた「トイレ」です。行くことができたなら体験したいと思います。

日本館のパビリオンでは「いのちと、いのちのあいだに」をテーマに、生ごみを利用した循環型の体験ができるようです。

機会があれば、皆さんいろんな体験をしに行ってみませんか?